



上智大学との連携講座(パラスポーツ関連科目)を今年度も開講！

2020年11月12日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社(社長:金杉 恭三)は、上智大学において、全14回の連携講座「パラアスリートと考える障がい者スポーツと共生社会」を秋学期より開講しました。

1. 背景

当社は、スポーツ振興、とりわけ障がい者スポーツ支援を通じて共生社会に資する取り組みを全国展開しています。また、上智大学では、「他者のために、他者とともに」の教育精神に基づく教育を行っており、両者は、共生社会の構築に向けた人財育成という共通の理念を有しています。

2018年より学生教育に資する協働取り組みを具現化するため、上智大学に連携講座を設置し、今年度で3年目を迎えました。連携講座の設置以外にも、当社と上智大学などを運営する学校法人上智学院は、2018年9月に包括連携協定を締結し、2020年度には上智大学に「多文化共生社会研究所」を共同で設立し、新たな産学連携の一步を踏み出しました。

2. 講座概要

上智大学では、新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度の授業は全てオンデマンド(非対面)で実施しています。

講座名	パラリンピアンと考える障がい者スポーツと共生社会
テーマ	パラアスリートと障がい者スポーツの現状を学ぶことにより、共生社会構築に向けて何が必要かを考える。
開講期	2020年度秋学期(全学部生が履修可能) / 2単位 / 定員150名
講義日	毎週金曜日 4限(15:25~17:05) 全14回
担当教員	谷口広明(上智大学文学部保健体育研究室講師) 倉田秀道(当社経営企画部次長/上智大学客員教授(非常勤))
内容	共生社会構築に向けて、その基礎となるパラアスリートと障がい者スポーツを取り巻く情勢について事例を示しながら臨場感のある講義をすすめます。 本講座ではスポーツの「みる」「ささえる」という視点を中心に、あらゆるアプローチにより障がい者スポーツと共生社会について考える場とします。
ゲスト講師	日本パラリンピック委員会 委員長 河合純一 氏 ほか

3. 授業計画（シラバス）

日程	授業テーマ	主担当教員
第1回 10/2	ガイダンス（連携講座開講の趣旨、講義のすすめ方等）	谷口
第2回 10/9	パラアスリートの活動 ～競技の現場から～	谷口、(倉田)
第3回 10/16	オリンピックアスリートの活動 ～競技の現場から～	倉田
第4回 10/23	障がい者スポーツとスポーツ科学	倉田、(谷口)
第5回 10/30	パラスポーツと共生社会の関係	谷口、(倉田)
第6回 11/6	企業、自治体等によるパラスポーツ支援の現状と課題	倉田
第7回 11/13	競技団体からみたオリンピック・パラリンピック	倉田、(谷口)
第8回 11/20	スポーツマネジメントから考えるオリンピック・パラリンピック	倉田
第9回 11/27	パラアスリートからみたパラリンピック ※ゲストアスリート	倉田
第10回 12/4	パラスポーツ、パラリンピックの今後を考える	倉田、(谷口)
第11回 12/11	上智大学におけるパラスポーツと共生社会に関する取り組み	谷口
第12回 12/18	課題発表 「自分なりの提言 part1」	谷口、倉田
第13回 1/8	課題発表 「自分なりの提言 part2」	谷口、倉田
第14回 1/22	まとめ	谷口、倉田

<オンデマンド授業のウェブ画面（事例）>

<p>10/23 第4回 障がい者スポーツとスポーツ科学</p> <p>利用制限 次の条件に合致しない限り利用できません:</p> <ul style="list-style-type: none"> 2020年10月23日09:00以後 2020年10月24日00:05以前 <ul style="list-style-type: none"> 4-0. 本編説明 4-1. 障害者スポーツとスポーツ科学 4-2. 障がい者スポーツとスポーツ科学2 4-3. パラアスリートの用具開発 第2期スポーツ基本計画（参考） 4-4. 大会期間中のスポーツ医学サポート（ハイパフォーマンスサポートセンター） 現地医学サポート拠点（参考） リアクションペーパー提出箱：期日10/23（21:00） 	<p>11/6 第6回 企業、自治体等によるパラスポーツ支援の現状と課題</p> <p>利用制限 次の条件に合致しない限り利用できません:</p> <ul style="list-style-type: none"> 2020年11月6日09:00以後 2020年11月7日00:05以前 <ul style="list-style-type: none"> 6-0. 本編説明 6-1. 企業、自治体等によるパラスポーツ支援の現状と課題 リアクションペーパー提出箱：期日11/6（21:00）
--	--

4. 今後

当社は、今後もアスリートのスポーツ活動を応援するとともに、スポーツを通じた共生社会の実現を目指した支援・活動をすすめていきます。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



主に貢献しているSDGs目標

